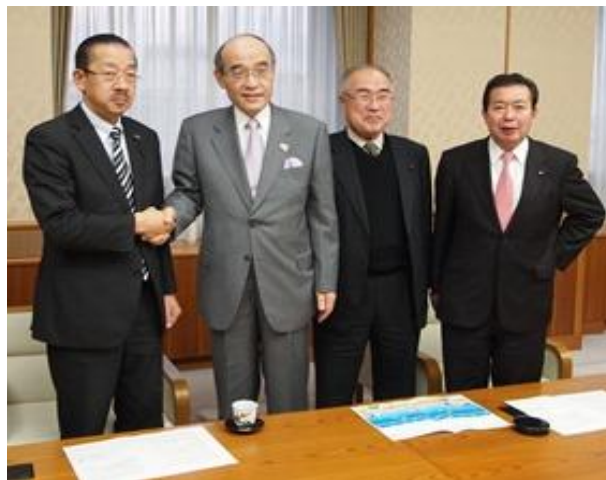


原発・基地など12項目で政策確認書を締結 県知事選挙で谷本正憲氏を「支持」

県連合常任幹事会は、1月28日に金沢市労済会館で開催し、3月の知事選挙で出馬表明している谷本正憲氏（現・5期）からの「推薦要請」に対する対応を協議しました。

常任幹事会では、この間、各支部及び支部連合での議論と意見集約が行われ、それらをふまえて協議の結果、谷本氏との間でしっかりした政策確認を行うこととし、別紙の「石川県知事選挙における対応について」を確認して、谷本正憲氏の「支持」を決定しました。

その後、引き続き開催された「議員（団）・支部代表者合同会議」は、谷本正憲氏を「支持」とした常任幹事会方針が提起され、各議員、各支部代表者、全員の意見を聞きく中で協議し、常任幹事会方針通り、「支持」することが決定されました。



記

「議員（団）・支部代表者合同会議」提出

2014年1月28日

石川県知事選挙における対応について

社会民主党石川県連合・常任幹事会

1. 県知事選挙をめぐる経過

- (1) 県知事選挙候補・谷本正憲氏（現職・5期）は、昨年9月13日に2014年3月の任期満了に伴う知事選に6選をめざして立候補する意向を表明。
- (2) 谷本正憲氏は2013年10月4日に自民県連に推薦願を提出。自民県連内では、能登地区の関係者の間では谷本知事への推薦を認める声が多く。一方、金沢支部では現在5期目の谷本知事に対する多選批判の声が根強く独自候補擁立を求める声も出ていた。
- (3) 石川県知事選について、自民党県連会長の馳浩衆院議員が11月11日、同党参院議員、岡田直樹氏（51）＝石川選挙区＝が出馬する意向であると明らかにする。
- (4) 11月17日、自民党県連は総務会・支部長幹事長合同会議を開き、来年3月の知事選で現職谷本正憲氏（68）＝5期＝を推薦することを決めた。出馬の意思を示していた岡田直樹参院議員（51）は同会議で正式に不出馬の意向を表明した。
- (5) 11月18日に社民党石川県連合に対し、谷本正憲氏より「推薦のお願い」が文書で提出された。

- (6) 公明党石川県本部が11月26日の幹事会で谷本正憲氏の推薦を決定。
- (7) 11月29日自民党県連は谷本知事と政策協定を結ぶ。政策協定では、北陸新幹線の大阪までのフル規格整備やドクターヘリの導入を前提とした救命救急体制の充実を図る。志賀原発については「安全が確認された場合は、県民の理解を得た上で、運転を再開させる」としている。
- (8) 民主党石川県連は12月15日に谷本氏推薦を決定。
- (9) 民主党県議の川裕一郎氏(42)(WILL石川)が12月26日に県庁で記者会見し、正式に立候補を表明。
- (10) 連合石川が2014年1月7日に谷本正憲氏を推薦決定。

2. 社民党県連合としての取り組み

- (1) 2013年11月18日に谷本正憲氏より文書で「推薦のお願い」を受ける。
- (2) 2013年12月5日「第10回常任幹事会」で「推薦のお願い」に対する対応を協議。党内の結束を第1に考え慎重に対応を進めることを確認。党員の意見を聞き、各支部連合でまとめ、県連合としてそれを集約して1月末までに対応を決定することとする。
- (3) 2014年1月16日「第11回常任幹事会」を開催。知事選対応にむけた各支部連合諸会議を確認した。同時に、常任幹事の意見集約も行い、1月28日に「第12回常任幹事会」を開催し、最終決定することとした。その一方で、盛本代表を中心に谷本氏の政策スタンスについての確認を同時に進めていく事とした。

- ①第1区支部連合 1月21日(火) 18:00「支部連合幹事会」 県連合事務所
県連合：盛本、森一、山本由、山本英
- ②第2区支部連合 18日(土) 17:00「議員、支部代表者会議」 小松教育労働会館
県連合：山根、清水、細野
- ③第3区支部連合 18日(土) 14:00「議員、支部代表者会議」 七尾労働会館
県連合：盛本、浅野、森憲、清水
- ④第1区支部連合・緊急全党員集会 1月27日(月) 19:00 近江町・いちば館
県連合：森一、清水、山本由、山本英

4. 各支部連合の諸会議で出された主な意見

別紙1

5. 知事選挙における社民党県連合の対応

- (1) 各支部連合での意見集約、さらには、これまでの常任幹事会における議論をふまえ、谷本氏側と「政策確認書」の作成について協議を重ねてきた。
その結果、最終案として別紙・「石川県知事選挙に関する政策確認書」を確認した。

別紙2 (裏面に掲載)

- (2) 以上をもとに社民党県連合は、今回の県知事選挙で谷本正憲氏を「支持」することとする。

以上

裏面：「石川県知事選挙に関する政策確認書」